横 浜 市 記 者 発 表 資 料

平成 30 年３月 15 日
都市整備局都心再生課

# 教育文化センター跡地の事業予定者を決定しました！

平成 29 年 10 月から公募を実施していた教育文化センター跡地（敷地面積：2,647.78 ㎡）について**４件の応募**があり、横浜市現市庁舎街区等活用事業審査委員会において審査が行われ、答申を受領しました。

この答申を踏まえ、「国際的な産学連携」「観光・集客」というテーマに沿って、最も周辺地域を活性化させる提案を行った次の応募者を、**事業予定者として決定**しました。

今後は、事業予定者とも連携して、関内・関外地区の活性化に取り組むとともに、来年度後半の現市庁舎街区の事業者公募に向けて、着実に事業を推進していきます。

## １．事業予定者

| | |
|---|---|
| 事業予定者 | **学校法人　関東学院**　（横浜市金沢区六浦東一丁目５０番１号） |

## ２．事業予定者の提案内容

| | |
|---|---|
| 施設概要 | 延床面積：25,221 ㎡　　高さ：74.9m（地上 17 階/地下２階） |
| 事業<br>コンセプト | **市民の知の交流拠点「オープンナレッジポート」の創設**<br>・大学、企業、市民、起業家等、国内外の多様な主体が集うインキュベーション拠点<br>・様々な分野での産学連携、2,500 名を超える学生の学ぶキャンパス<br>・市民に開放された「知の交流」のための多様なスペース |
| フロア構成 | １階・地下１階　エントランス・ブックカフェ・スポーツ施設等<br>２・３階　ホール・ギャラリー<br>４階　マッチングオフィス・コワーキングスペース<br>５階　デジタル図書室<br>６～17 階　大学<br>※ **地下１階～５階は一般利用可能**（６階以上も一部利用可能） |
| 今後の<br>スケジュール<br>（予定） | 30 年度早期　基本計画協定・土地売買契約の締結<br>30 年７月以降　既存建物の解体・撤去開始<br>**34 年４月　開校** |

## ３．売却価格

| | |
|---|---|
| 売却価格 | 2,387,404,090 円 |

イメージパース（建物外観）

イメージパース（建物低層部）

（裏面あり）

地域に開かれた都市型キャンパス

サンクンガーデン（ブックカフェ）

ホール

スポーツ施設

鳥瞰図

（次頁あり）

## 事業コンセプト概要　　市民の知の交流拠点「オープンナレッジポート」の創設

○ **大学、企業、市民、起業家等、国内外の多様な主体が集うインキュベーション拠点**

新たな地域の活力の原動力となる大小さまざまなイノベーションを誘発するために、大学の多様な機能が提供されます。大学がラウンドテーブルの機能を果たしながら、**大学・企業・市民・起業家等の国内外の様々な主体が集い、交流するためのプラットフォーム**が形成されることにより、関内・関外地区に新たなインキュベーション拠点が創出されます。

○ **様々な分野での産学連携、2,500 名を超える学生の学ぶキャンパス**

当該大学では様々な分野における国際的な教育・研究のリソースを有しており、**企業ニーズとマッチングさせるためのマッチングオフィス**を設置するなど、関内・関外地区で研究・教育分野での多様な産学連携を実現するとともに、留学生や海外研究者と交流できるスペースも設置されます。

また、**2,500 名を超える学生が学ぶキャンパス**が開校され、学生による周辺地域の回遊や地域が実施する事業への参画等により、新たな賑わいが形成されます。

○ **市民に開放された「知の交流」のための多様なスペース**

企業や市民が活動可能なコワーキングスペース、多数の蔵書にアクセスできるデジタル図書室、サンクンガーデンに設置されるブックカフェ、ホールやギャラリーなど、**市民の知的・文化的活動を支援するための多様なスペース**が用意されています。

また、生涯学習講座などを積極的に開講し、市民の知的活動を支援するとともに、スポーツ施設も設置し、市民の健康増進にも貢献します。

提案内容・イメージパースは事業提案時のものであり、今後、変更する可能性があります。
（イメージパースは応募書類から転載したものであり、著作権は応募者に帰属します。）

**＜現市庁舎街区等活用事業審査委員会 答申抜粋＞**

・事業予定者の提案は、本事業の趣旨を深く理解し、事業の目的に資する多様な機能が配置されるとともに、外部や地域に開かれた魅力的な場を提供していることが高く評価されました。
・大通り公園や JR 関内駅側にオープンスペースを設けた上でサンクンガーデンを配置するなど、地域に開かれた人をひきつける施設とするための工夫が感じ取れました。
・周辺地域への波及に向けた取組としては、多彩なリソースを活用した大学における地域への新たな展開・周辺地域との連携が高く評価されました。是非、地域貢献をマネジメントする組織・人材を早い段階から適切に配置し、地域と共に歩んでいただきたいと考えています。
・約 2500 名超の学生規模を持つキャンパス機能と市民の「知の交流」を誘発する多彩な機能により、今後、関内・関外地区に新たな賑わいが生まれ、地域の活性化が進むことを期待したいと思います。

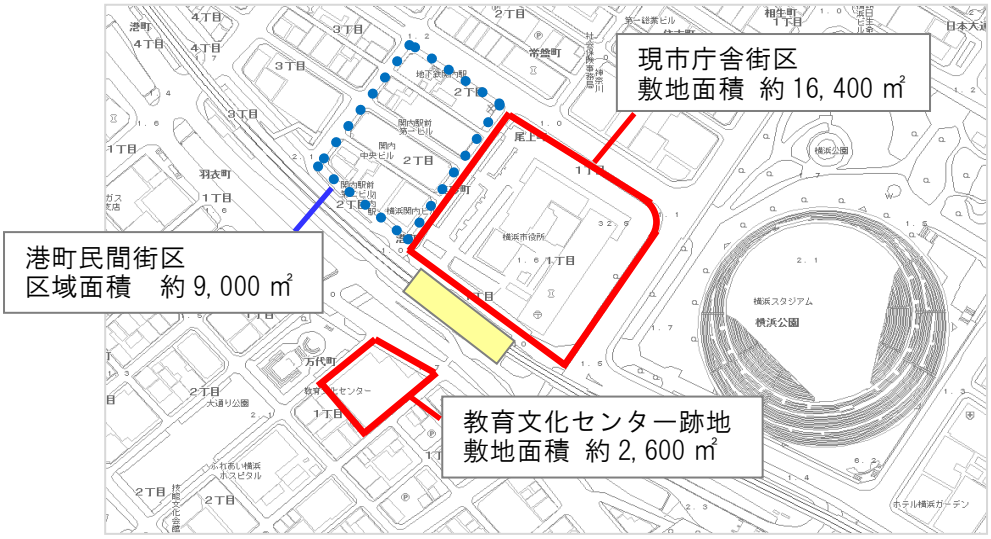
**※ 公募の概要や審査委員会の答申は横浜市都市整備局都心再生課のホームページから御覧いただけます。**

URL： http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/tosai/kannaiekisyuhen/kyoubun171013.html

**（裏面あり）**

【参考】現市庁舎街区等活用事業

● 対象土地の概要




● 土地利用の基本的な考え方

① **「国際的な産学連携」「観光・集客」**をテーマに地区の賑わいと活性化の核づくりを行います。

② 関内駅前の交通結節点機能を強化することで、都心臨海部各地区の連携と回遊性を高めます。

③ 横浜らしい街並み景観を誘導します。

● スケジュール

| | |
|---|---|
| **平成 29 年度** | **教育文化センター跡地事業 事業予定者決定** |
| 平成 30 年度後半 | 現市庁舎街区活用事業 事業者公募開始 |
| 平成 31 年度 | 現市庁舎街区活用事業 事業予定者決定 |


| お問合せ先 |
|---|
| 都市整備局 都心再生課 都心再生担当課長 黒田崇 Tel 045-671-3952 |